



# The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2009 / 2010)

- 国際会長 「一つとなる力」
- アジア会長 「一つとなる力」
- 西日本区理事 「すべてのいのちを大切に」
- 中部部長 「ワイズの理念を胸に自信をもって活動しよう」
- 名古屋会長 「広げよう新しい仲間 みんなで目指そう出席率の向上!!」

2009 ~ 2010 8 月 号 (No750)

## 8 月例会プログラム

### 日韓ユースセミナー 2009

#### 名古屋 Y's・南山 Y's 合同例会および歓迎会

と き：2009年8月18日(火) 6:30p.m. ~ 8:30p.m.  
と ころ：南山ファミリー YMCA 2階ホール

司 会 川本 龍資君  
 開会宣言 会 長 深谷 聡君  
 ワイズソング  
 聖書朗読・祈祷 南山ワイズ

司 会 西野真希君 渡邊 達也君

参加者紹介  
 歓迎の言葉 名古屋ワイズ 長井 潤君  
 挨拶 ソウル YMCA 団長 金 大浩 氏  
 食 事 (歓談・交流の時)  
 ユースプログラム① (ソウル YMCA)  
 ユースプログラム② (名古屋 YMCA)  
 ハッピーバースディ  
 閉会あいさつ・点鐘 南山クラブ会長 杉山弘時君

## 第 2 例 会

と き：2009年8月11日(火)7:00p.m. ~ 8:30p.m.  
 と ころ：名古屋 YMCA  
 プログラム：9月第1例会について  
 その他

会 長 深谷 聡 書 記 渡辺 真悟  
 副 会 長 水谷 治 長井 潤 五島 八郎  
 プリテン 久保田 平野 伊左治 会 計 川口 恵

## 互いに支え合い分かち合いの心を

高 森 敬 久

早いもので、私が中部部長の谷川さんより Y's 入会の声かけをして頂いて3年目を迎えました。ところで私と谷川氏との出会いは私が愛知県立大学の教員として関西から名古屋に移転した時からでした。当時、彼は県大の優秀な学生として4年間、私と一緒に社会福祉学を学ぶとともに、卒業後も現在の名古屋キリスト教社会館の福祉専門職員に入社しましたが、さらにそれだけでなく彼はボランティア・リーダーとしても私を支えてくれました。これらは今にして思えば十数年前にさかのぼることになりますが、今も私は忘れることはできません。そればかりかその彼が現在、老境を迎えている私を Y's の活動を通じて再び支えてくれているからです。

とはいえ私と Y's の出会いは私が関西学院文学部社会福祉学科の学生として在籍していたころ、当時神戸 YMCA の総主事としておられた今井静雄先生が、グループワークの非常勤講師として来学しておられた時のことでした。先生は当時私に神戸 Y 少年部のスタッフ・リーダーとして、また、当時夏休みには小豆島にある神戸 Y キャンプサイト「余島」で毎年実施されている肢体不自由児長期キャンプカウンセラーとして参加する機会を与えて下さいました。こうした貴重な体験は私の心の中に次第にボランティアリズムが芽生え育ち始め、私が社会福祉の専門職として大阪ボランティア協会の設立に関わったり、これらが私の生涯の仕事になりました。

7月クラブ出席		B	F	7 月 個 人 出 席							
在 籍	29名	7 月	切手	0pt	青 木	木 本	○	谷 川	○	第 一 例 会 (7/14) メネット 伊左治 尾関 加藤(朱) 長井 西村	
第 1 例 会	24名		現金	0pt	飯 田	○	久保田	○	寺 田		○
メネット	5名				伊左治	○	黒 川	○	長 井		◎
第 2 例 会	7名	累 計 (7 月)	小計	0pt	岩 田	○	五 島	○	成 瀬		○
メネット	0名		切手	0pt	尾 関	○	小 谷	○	西 村		○
ゲスト・ピッサー	1名		現金	0pt	小 尾	○	坂 上	○	平 野		◎
メーキャップ	0名				加藤明	○	塩 田	○	深 谷		◎
出 席 率	81.5%				加藤晃	○	鈴 木	功	水 谷		◎
メ ネット会	4名		累計	0pt	川 口	○	相 馬	○	渡 辺		◎
					川 本	◎	高 森	○			

○第1 ○第2 ◎第1・第2 Mメーキャップ

こうして、私と名古屋 Y's との出会いがボランティアを今日的な社会福祉実践（ソーシャルワーク実践）に役立てる機会を再び与えて下さっているのではないかと考えています。とはいえ入会して僅か 2 年余の歳月しか経てない高齢の私に名古屋 Y's の歴史や今後について語る資格や

能力が残されているとは思えませんが、神様から戴いたこの貴重な賜物を互いに分かち合い育て合っけてゆくボランティアによって明日の名古屋 Y's を少しでも支え地域社会に広げてゆくことに微力な私ではありますが、役立つことを願っています。

■■■ 第 1 例会レポート ■■■

と き 2009 年 7 月 14 日（火） 6:30 ～ 8:30  
ところ 名古屋 YMCA

新怪鳥として飛び立った我がクラブリーダーの川本会長の一年が経ち長くもあり短くもあったことでしょう。西日本区と自らのゴールを目指しリーダーシップを発揮しメンバーを導いていただいたことに感謝。その一年間の総括として定期総会を開催し川本会長のカラーである YMCA サービス事業を重きに置いた活動や当クラブから中部部長を輩出し行動的な一年であった中部の活動報告や 6 月のプログラムで行われた分科会の報告や天災に見舞われたコロボクラブの支援活動報告のレポートや決算報告がなされ、クラブメンバー数は増減なしの 29 名であったことが報告された。また、メネット事業ではボランティア活動を中心とした活動報告もあり、実りのあった一年間を改めて省みたひと時であった。新年度予算では 8 月に予定している韓国ユースの交流事業にもっと多くの予算立てをした方がよいとの意見もあり役員会で検討するという案件があったがほぼ予定通りの議事進行であった。また、名古屋東海クラブの橋爪さんが出席され今年中に数十名の名古屋 YMCA 会員の増強を予定して居りよ

り多くの会員を募り実りある事業につながればと会員増強のアピールがあった。この件について名古屋クラブメンバーも協力して何らかの形で成果を挙げたいと表明があった。

ここ 2 年連続してワイズ歴の浅いメンバーが名古屋クラブ会長として誕生したが、深谷新会長にも独自の色を思う存分発揮して 60 数年の歴史あるクラブに新たな 1 ページを加え、快調（会長）と名古屋クラブを引っ張って行って貰いたい。

（平野実郎）



■■■ 第 2 例会レポート ■■■

と き 2009 年 7 月 21 日（火） 7:00 ～ 8:00  
ところ 名古屋 YMCA

1. 8 月第一例会について

YMCA 国際交流プログラムの一環としてソウルのユースが来名するのに合わせて 8 月 18 日（火）の第 3 火曜日を第一例会とし、日韓ユースとの交流会及び南山ワイズとの合同例会とする。

・当日のプログラム等について加藤総主事、南山ワイズ会長、深谷会長で検討調整する。

2. 8 月第二例会は 8 月 11 日（火）

3. 審議事項・報告事項

- (1) 7 月第 1 例会で提案があり、第 2 例会の検討事項となった、ソウルセミナーへの予算(5 万円)増額について。
  - ・主旨には賛成意見も多いが、現時点で人数・プログラム等が不明なため、総主事、会長の意見も踏まえ 8 月 11 日第 2 例会で支援・参画の仕方・規模を決める。
- (2) 7 月第一例会で提案があった、西日本区・中部の役員になったメンバーへの支援について
  - ・西日本区役員として、経験をつむための経費の支援をする。
- (3) 例会の開催日・火曜日を水曜日に変更するかどうかの検討（ノ一残業日が水曜日の会社が多いため）
  - ・会員アンケートをとる
  - ・長井メンがアンケート案を作成、第二例会で検討後アンケートを実施する。
- (4) 今年度聖岩クラブへの公式訪問について

・長井副会長に願います。10月頃を予定。

(5) 今年度クラブ EMC 集計・報告

・EMC 委員の川本メンに願います。メイクアップの報告は川本メンにすること。

4. 9月第一例会について

・9月8日(火)に岩田メンの奈良伝賞受賞祝賀会と

して行こう。

・場所はラース ANN (東海クラブが例会を行っている所)を第一候補として、長井メンが手配する。

※その他検討事項

8月22日楽例会のあり方、会へのかかわり方

(渡辺真悟)

### 今月の聖句

「互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。」

ガラテヤの信徒への手紙6:2

西村 清

新しい会長のもとで、名古屋ワイズメンの09~10年度の活動が始動します。会長をもちたて、また私たちメンバーも高められて、共に名古屋YMCAの働きを盛りたてていきたいと願っています。

さて、「共に生きる」ために自分の弱さを知ることは大切なことです。同時に他者の弱さも知り、お互いに助け合い、欠けをお互いに補い合うことが大切なことかと思うのです。ナンバーワンになることがもてはやされる競争社会に生きている私たちは、無意識のうちに他者の弱さを鋭い臭覚で嗅ぎ

分け、往々にしてその弱さを攻撃することによって、自分を優位に置いてしまう危険性がかかえています。支え合う存在であるべき人間が、相手の欠けを自分が有利になるために利用するならば、互いにだめになり、弱肉強食の論理で生きることになってしまいます。

逆に、他者の強さを恐れ、自分の弱さに過剰反応するならば、それは自分の劣等感となり、互いに支え合う社会にはなりません。このような中には共生はありえないのです。共に生きる社会とは、自分の弱さと共に、他者の弱さを知りながら、お互いがお互いの弱さを補い合い、支え合う健全な依存関係が築かれる社会です。互いに「ありがとう」と言い合って、お互いの存在を感謝しあう社会です。

名古屋ワイズメンズクラブはこのようなほのぼのとしたクラブとして、また心の安らぎを覚えるような交わりのあることを願うのです。そこにこそ「キリストの律法を全うする」社会、そのような愛に満ちた交わりがあると言えるのではないのでしょうか。

#### 『ワイズメンの賢い話』(No162)

#### 『十戒(第十戒)』

「十戒の最後の第十戒は“隣人の家を欲してはならない”とあり、その後具体的な物が書かれていて、最後に“隣人のものを一切欲してはならない”とあるよ。「とにかく、どんなに自分が欲しい物を隣人が持っていたとしても欲しがってはいけないということだね。これは結構むずかしいよ」。「そうだね。昔の聖書では、

“欲してはならない”ではなく“むさぼってはならない”とあるよ。要するに何がなんでも隣人のものが欲しいということになると隣人の物を盗んだり、隣人との関係が悪くなったりすることもあるね。また、隣人の物ばかりが気になって、自分に与えられたものに感謝する気持ちがなくなってしまうよ。そういうことを想定して戒めているのではないかな」。(寺田仁計)

2010年度

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

## 第13回中部部会

ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう

とき 2009年9月6日(日)

ところ 名鉄ニューグランドホテル

(JR名古屋駅新幹線側)

名古屋市 中村区 椿町 6-9 TEL052-452-5511

登録費 10,000円

## 中部楽例会'09

とき 2009年8月22日(土)

午後3時30分~6時

ところ 名古屋YMCA 根の上キャンパス

会費 3,000円 食事付・飲み放題

(当日 受付にて支払)



# Menettes of Nagoya Y's Men's Club

## 8月メネット例会ごあんない

8月メネット会はお休みとします。が、日韓ユースセミナーの歓迎会がメンの第一例会として開催されますので、皆さんで参加しましょう。

と き：2009年8月18日(火) 6:30p.m.～8:30p.m.  
ところ：南山ファミリーYMCA 2階ホール

### 予告

## 第13回 中部メネット会開催の御案内

と き 2009年9月6日(日)  
ところ 名鉄ニューグランドホテル  
(JR名古屋駅新幹線側)  
名古屋市中村区椿町6-9

12:00 / 登録受付  
12:30 / 開始  
13:20 / 終了  
13:30 / 中部部会  
14:30 / 講演会

講師 大山康弘氏  
(日本理化学工業会長)

16:00 / 懇親会  
18:00 / 閉会  
登録費：1,000円(メネット会)

クラブ単位で8月22日までに実行委員長あてに申し込みます。

中部部長 大島孝三郎  
実行委員長 島崎正剛(書記)

## 8月からの讃美歌 420番

早いもので、終戦から64年が過ぎようとしています。愚かな戦いによって、愛する肉親や友人や住みなれた家さえ失って嫌というほどの辛酸を味わったはずなのに、世界では未だに争いが絶えません。人は何時になったら共に平和に暮らす世界を実現することが出来るのでしょうか。

この曲は、原作者 J.H. ホームズが理想とした無戦世界を仰望した歌で、一時アメリカのキリスト教界を風靡した社会的福音の代表曲の一つです。

(長井 潤)

## メネット例会レポート

と き 2009年7月18日(土) 10:00～15:00  
ところ 名古屋YMCA

2010年横浜で第69回ワイズ国際大会が開催されます。その中のメネットアワーの「日本の遊び」を紹介するコーナーで使用のお手玉を東西日本区で分担して作ることに、中部は名古屋メネット会がお引き受けしました。

伊左治メネットのきびしい(?)指導の下、「何十年ぶりかしら」というお手玉作りは、いつものごとく口も動かし手も動かすという見事な技で、皆で持ち寄った着物の端切れがお手玉に変身していきました。中部の活動なので他クラブにも声をかけたところ、東海の橋爪メネットとグランパスの服部メネットがお手伝いに来ていただきました。お二人は愛実の会にもご理解いただき、6月から食事奉仕もお手伝いくださっています。このところ手薄になった名古屋のメネット会を助けていただき本当に感謝です。きれいな和風柄のお手玉は、各自持ち帰って仕上げをし、9月の中部部会で西日本区メネット事業主任にお渡しすることになっています。

お昼ごはんをはさみ、午後からは折り紙です。自らが長崎の被爆者である大阪サウスクラブ松岡虔一メンの呼びかけで、阪和部のメネット会が毎年折り紙ペンギンを作成し、8月9日の長崎原爆記念式典に献納しているそうです。国際大会でもペンギンの吹き流しを展示し世界平和への祈りをアピールすることになり、協力要請がありました。普段慣れている折り鶴ならぬ折りペンギンに最初は戸惑いましたが、次第に慣れて130羽のペンギンが完成。平和の祈りが届きますように・・・

(加藤朱美)

.....

## メネット

メン  
8月20日 加藤 晃君  
坂上 洋平君

メネット  
8月10日 伊左治クミ子さん  
16日 寺田 純子さん